

小三読み ①

- ① 湖の向こう岸にある美しいお宮の様子を橋の上からながめる。
- ② じゃんけんを使うと、短い時間で勝ち負けが決められる。
- ③ 第一に大豆について学習し、第二に調べたことを発表した。
- ④ 早く起きて県立病院へ行き、医者に歯と鼻の相談をした。
- ⑤ 五丁目の動物園で、ぞうがかぜで死にそうになる出来事があった。
- ⑥ 両親から、緑色の入れ物に入った上等な毛筆セットをもらった。

① 世界の人と言葉を通じさせるには、相手に心を開くことが大切だ。

② 他人を自分自身のように心配し、幸福をねがえる人は神様みたいだ。

③ ひなくん練で、にげ道を形式てきにたどり、命を守る練習をする。

④ 学級委員が中心となり、中庭のごみ拾いを流れ作業で進めた。

⑤ この部分の文章を注意深く読み、主語をさがしなさい。

⑥ 重くて大事な物を持つ係になり、悪いことに平らな地面で転んだ。

小三読み ③

- ① 次から次にくる波は、いつもの倍になり、かもめがたくさん集まった。
- ② 暑苦しい夏の夜、ゆめで氷のまわりを白くまと自由に泳いで遊んだ。
- ③ たのんだ商品の家具が着く予定日を手帳に書きこむ。
- ④ 悲しいときには、温かいお湯やあま酒を飲んで心まで温まる。
- ⑤ 学級文庫に昭和時代の童話を持ってきてくれたお礼をいう。
- ⑥ 口笛をふきながら電柱の横を歩く人を、だれかが追っている。

小三読み ④

- ① スキー板が反対に進んだり、急な坂で転んだりして一日が終わった。
- ② 放か後、鉄ぼうから落ちて指から血を出した友だちを家まで送った。
- ③ 小さな薬箱を薬局から急いで買ってきた。
- ④ 習った漢字・文の意味や区切れが正しいか問いながら感想文を整理した。
- ⑤ 一分一秒をおしみに、消化の役わりの研究にはげんだ。
- ⑥ 君は、皿にある大根の皮をおき、真ん中を切り取ってください。

小三読み⑤

- ① 羊毛の洋服をきいているような羊は寒い場所でも平気だ。
- ② 二度目に家族で京都に行ったとき、宿の前で写真をとった。
- ③ 島の農作物・植物・動物の安全を守るため、学者の助言を受けた。
- ④ 去年、かんこう客として、九州の有名な祭りを見に行った。
- ⑤ 駅の中央のおみやげ屋には、この時期にいつも行列ができる。
- ⑥ 昔ながらの旅館をさがし、住所と電話番号を調べて申しこんだ。

小三読み⑥

① 野球で、速くて曲がるボールを投げたが、打ち返され、ため息をつく。

② 畑を見ながら、葉や実が育つ仕組みについて勉強し始めた。

③ 登場人物は、港で石炭や油の荷を運ぶために待つ人々だ。

④ 寒くて暗い冬は、バスの二階に乗って、道路のツリーをながめる。

⑤ 太陽で銀色に光る山から感じたことを詩にして、題名を決めた。